

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	1051	(H.27)No.	1051
-----------	------	-----------	------

事務事業名	社会参加促進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	障害福祉室	田中資三	

会計区分	事業コード	172008
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域生活支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者自立支援費	社会参加促進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	4	自立を支える障害者福祉の推進
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
障害者福祉の向上
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者のための点訳・音訳による市広報等の情報提供</li> <li>・障害者が気軽に参加できるスポーツ・文化・教養事業を促進</li> <li>・障害者自身が所有し運転するため、自動車の手動装置等を改造する費用や自動車運転免許取得に必要な費用の一部助成</li> </ul>

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	点訳・録音広報発行:26回 スポーツ教室:サウンドテニス、ボウリング、グランドゴルフ、卓球 スポーツ大会:1回 障害者等理解促進研修・啓発事業:トーク&コンサート他 自動車改造・操作訓練:3件	点訳・録音広報発行 スポーツ教室 スポーツ大会 障害者等理解促進研修・啓発事業 自動車改造・操作訓練	点訳・録音広報発行 スポーツ教室 スポーツ大会 障害者等理解促進研修・啓発事業 自動車改造・操作訓練	点訳・録音広報発行 スポーツ教室 スポーツ大会 障害者等理解促進研修・啓発事業 自動車改造・操作訓練	点訳・録音広報発行 スポーツ教室 スポーツ大会 障害者等理解促進研修・啓発事業 自動車改造・操作訓練	点訳・録音広報発行 スポーツ教室 スポーツ大会 障害者等理解促進研修・啓発事業 自動車改造・操作訓練

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	1,739千円	2,979千円	2,979千円	2,979千円	2,979千円
内訳(千円)					
国・県支出金	627	663	663	663	663
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 1,112	2,316	2,316	2,316	2,316
人工数					
職員	0.06人	0.27人	0.27人	0.27人	0.27人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 456千円	2,052千円	2,052千円	2,052千円	2,052千円
①+②総事業費	(0千円) 2,195千円	5,031千円	5,031千円	5,031千円	5,031千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
障害者に対する住民理解については、順調に伸びている。	引き続き、事業を推進し、一人でも多くの市民の理解が得られるよう努める。 三重県手話言語条例が制定されることをうけ、本市としての対応を検討。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	障害者に対する理解を広く市民に啓発する。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
障害者総合支援法に基き、障害者の社会参加を促進するための事業である。	名張市障害者福祉計画、名張市障害福祉計画